

令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	日新小学校 児童数 391 人	担当者名	石井 美根子
住所	郵便番号 840-0853 佐賀市長瀬町9番15号	電話番号	0952-24-4261

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県個人情報保護方針 (<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00319144/index.html>) に定めています。

I.取組前の宣言内容

宣言	目標	本となかよくなるろう
	取組期間	令和5年 4月 10日 ~ 令和5年 11月 30日

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

II.取組後の評価

評価	取組人数	440 人	実施日数	234 日	読書冊数	32,351 冊	連携した団体数	2 団体
	取組内容（概要）	<p>図書委員、司書、司書補助、司書教諭を中心とした体制の下「楽しみながら本にふれあえる図書館作り」を目的に、図書館イベントの年間計画(資料1参照)に沿って多様な読書活動を行っている。</p> <p>①読書カードを使った貸出し記録(資料2参照) ②目標貸出数100冊達成者の掲示(資料3参照) ③読書ビンゴ&佐賀弁クイズ(資料4参照) ④年2回の図書館まつり ⑤体験図書委員(資料8参照) ⑥読み聞かせ体験(資料9参照) ⑦季節展示による読書推進と情報発信(資料10) ⑧ボランティアによる読み語り</p>						
工夫したこと	<p>①カードを見れば自分が今までに何冊借りたの一目でわかる。いくつか目標冊数を設けており、達成すれば「プラス1冊券」「フリーパス券」「しおり」などのプレゼントがもらえ、目標達成への意欲にも繋がっている。</p> <p>②記名した100冊達成者の星を学年ごとに掲示。100冊ごとに星の色を変えていくことで、さらなる読書意欲を高めることができる。(毎週金曜司書補助により更新)</p> <p>③ビンゴカードには「担任の先生が好きな本」「家族に読んであげたい本」(以下に詳細)「動物の本」「乗り物の本」など様々なテーマが書かれており、借りたらスタンプを押す。列が揃ったら「佐賀弁クイズ」に挑戦。日頃使い慣れていない佐賀弁に苦慮しながらも、先生方に質問する姿が見られた。(開催期間1ヶ月)</p> <p>「家族に読んであげたい本」(資料5参照) 自宅で児童が家族に読み聞かせをした後、家族から感想を書いてもらった。たくさんの温かいコメントを書いていただき、^{うちどく}家読推進にもつながった。</p> <p>④図書委員主体で様々な担当を分担して取り組ませる。事前におまつりのしおりを配布し、開催中は図書委員がイベント内容を毎日給食時間に放送。終了後もしばらく作品</p>							

	<p>を展示することで他の児童が図書館に足を運びきっかけにもなる。</p> <p>(以下開催内容 各1週間開催)</p> <p>6月…しおり作り・4コママンガ・イラストコンテスト・図書館クイズ・折り紙コンテスト・この名言が出てくる本はなに?・めいろう大会・辞書早引き大会</p> <p>11月…図書委員による出張読み聞かせ(以下に詳細)・スクリーンを使った怖い話(以下に詳細)・給食室とのコラボ給食2日間・読書ビンゴ&本の福袋・イラスト、マンガ、物語のコンテスト</p> <p>・「図書委員による出張読み聞かせ」(資料6参照)</p> <p>1日1学年6日間12クラス実施。事前に何度も自主的に練習する姿が見られた。人前での読み聞かせの経験は初めての児童ばかりで本番は緊張した様子だったが、やり遂げた達成感を味わえた児童もいた。</p> <p>・「スクリーンを使った怖い話」(資料7参照)</p> <p>暗くした体育館で、スクリーンと効果音を使った迫力あるダイナミックな雰囲気 연출することができた。(約150名の児童が参加)</p> <p>⑤希望する児童に図書委員の仕事を体験してもらう。図書委員が受付や本の整理の仕方を指導。低学年の参加者が多く、楽しんで参加する姿が見られた。また、「5年生になったら図書委員になりたい」と言ってくれる児童がおり、図書委員活動の理解にも繋がっている。</p> <p>⑥参加希望の児童には10分程度で読める本を図書館で選んでもらい、学校や自宅で練習をするよう指導。初の試みだったが、練習の成果を発揮して本番はスムーズに読み聞かせができる児童が多かった。読書をする児童と分けるため図書室で行った。</p> <p>⑦・季節に合った図書コーナーを設置し、関心を引く工夫をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内だけでなく図書館前の廊下や靴箱の上でもおすすめの本を紹介。 ・新しく入った本は1冊ずつ写真付きでポスターを作成し、紹介文を添えて掲示。 ・イベント時の写真をふんだんに掲載した図書館だより、職員や図書委員からのおすすめの本を顔写真付きで掲示するなど、目で見ても楽しめる工夫を行っている。 <p>⑧保護者や地域の方で構成されたボランティアによる読み語りを、年13回全クラス朝の時間に実施。読み手が足りない時は先生方が入る。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>高学年になると図書の授業はほぼ無いため、長期延滞や紛失を防ぐためにもテスト終わりや時間があるときは、少しでも図書館に来てもらうよう担任に呼びかけている。昨年本校に配属された当初は、児童が図書館イベントに対し不慣れな様子で参加者も少なかった。そのため今年はさらにイベントを増やし、放送やお便りやポスターなどで何度も呼びかけたところ参加者が増え「今月は何のイベントがありますか?」と聞きに来る児童もいる。おすすめの本紹介や読み聞かせなど先生方にも協力いただきながら、今後も児童が楽しんで本にふれあえる機会を増やしていきたい。</p>
<p>これまでの取組や今後の取組予定</p>	<p>以下は昨年12月から3月までに行ったイベント(資料11参照) 今年度も開催予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月 先生方によるクリスマスおはなし会 ・12月 図書委員による折り紙教室「サンタクロースを作ろう」 ・1月 お正月イベント「おみくじ&絵馬を書こう」 ・2月 図書館キャラクター&プラス1さつ券デザインコンテスト ・3月 校長より年間多読児童の表彰

資料1 図書館イベント年間計画

R5年度 図書館イベント計画(案)

4月
・先生方におすすめの本を図書館で1冊選んでもらい、本を持った写真とコメントをつけたポスターを1年間掲示。

5月
・1か月間「読書ビンゴ」→「佐賀弁クイズ」
・先生方による「春のおはなし会」

6月
・1週間「図書館まつり」中旬頃

7・8月
・夏休み図書館閉館(昨年14日間)
・蔵書点検1週間(22日~28日)

9月
・児童による「読み聞かせ体験」

10月
・「1日体験図書委員」

11月
・5日間「図書館まつり」上旬頃

12月
・先生方による「クリスマスおはなし会」
・図書委員の「折り紙教室」

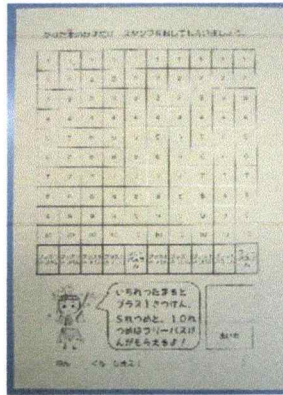
1月
・1日限定お正月イベント「おみくじ」「絵馬」「福笑い」

2月
・新としよかんキャラクター&プラス1さつ楽デザインコンテスト

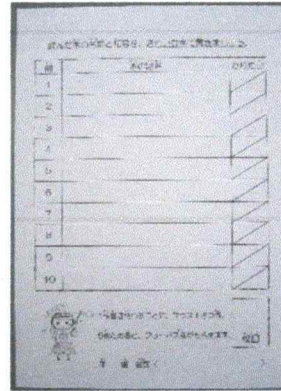
3月
・6年生へ卒業記念品プレゼント
(名前・6年間の貸出数・最初に借りた本の題名と表紙を印字したしおり)

資料2 読書カード

1年生用



2~6年生用



1年生は図書委員がスタンプ、2~6年生は自分で本の題名を書く。



プレゼントの詳細を入口に掲示

資料3 目標貸出数100冊達成者の掲示



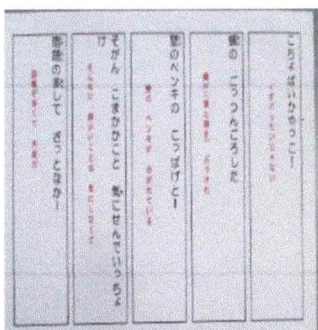
階段踊り場にあるため目につきやすく、自分の名前が掲示されることで特別感を味わうことができる。

資料4 読書ビンゴ&佐賀弁クイズ

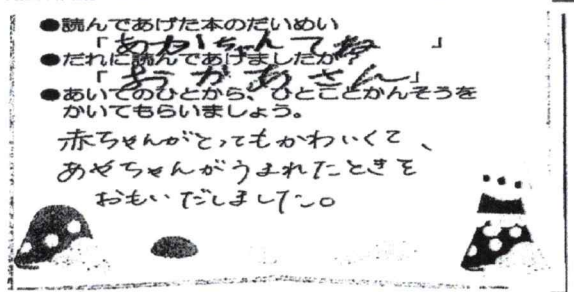
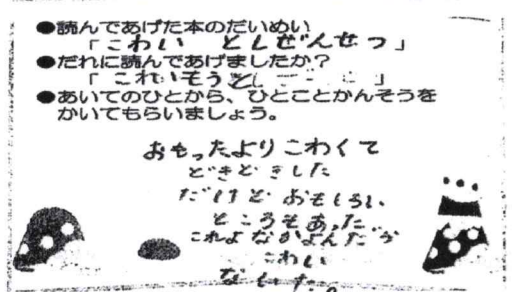
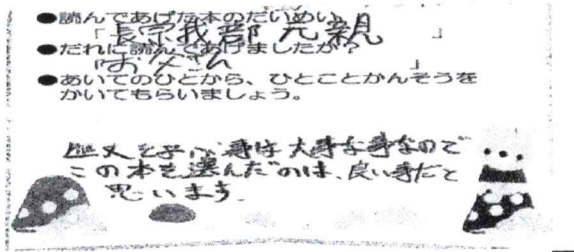
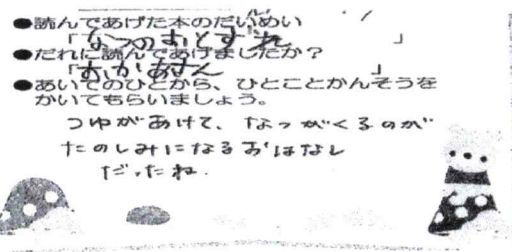
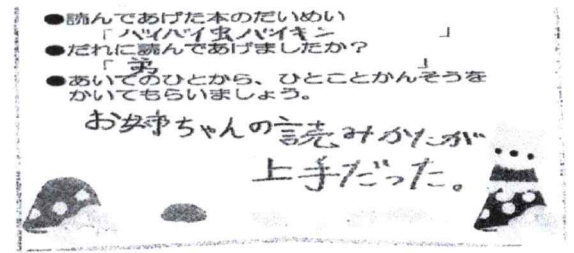
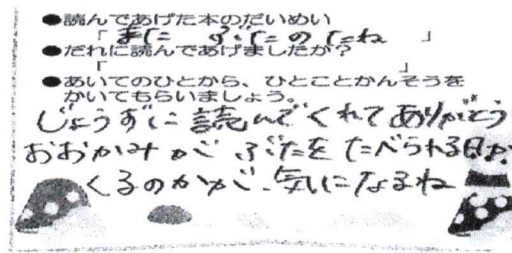
ビンゴカード



佐賀弁クイズ



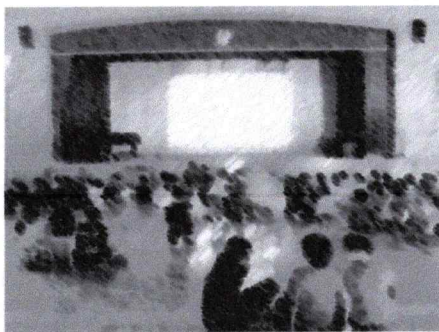
資料5 家族に読んであげたい本



資料6 図書委員による出張読み聞かせ



資料7 スクリーンを使った怖い話



資料8 体験図書委員



資料9 読み聞かせ体験



本を持つての読み聞かせが難しい場合は司書が補助。



日を追うごとに聞きに来る児童が増えていった。

資料10 季節展示による読書推進と情報発信

図書委員からのおすすめの本や、季節の展示コーナー



掲示板を使った情報発信



図書館まつり
イベント内容

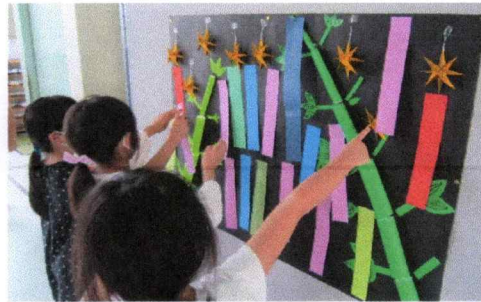


新図書の紹介



先生方のおすすめ
の本紹介ポスター

季節に応じた飾りつけ



資料 11 昨年 12 月から 3 月までに行ったイベント



トナカイの
コスプレで
楽しませ
ていただいた。

図書委員の折紙教室



新年度の図書館キャラクター
に採用された児童の表彰

校長から多読児童の表彰



おみくじ &
絵馬を書こう

